

3 「八王子ビジョン 2022」の振り返りと今後の課題

都市像(私たちが目指すまち) 1

みんなで担う公共と協働のまち

基本施策（章）：19

施策（節）：49

◆1章 市民自治の推進

- 01 地域コミュニティの活性化
- 02 市民と行政の協働

<8年間の振り返り>

- 「町会・自治会の活動活性化の推進に関する条例」を制定したほか、コミュニティ活動応援サイト「はちコミねっと」を運用し、誰もが気軽に地域活動に参加できる環境を整えている。
- 大学コンソーシアム八王子と連携し、学園都市の特性を活かしたまちづくりを推進するほか、市民が市政に参加しやすい環境づくりを進めている。

<今後の課題>

- 地域を支える多様な担い手の育成や町会・自治会、住民協議会、市民活動団体等との連携など「地域力」を増強する施策の実施

◆2章 市民が納得できるサービスの提供

- 03 積極的な市政情報の発信
- 04 市民サービスの向上

<8年間の振り返り>

- 多様なメディアを活用した情報発信やブランドメッセージを活用したシティプロモーションの推進など本市の魅力を市内外に積極的に発信するほか、オンライン申請、コンビニ交付、キャッシュレス決済など ICT を活用した市民サービスの向上に取り組んでいる。

<今後の課題>

- 戦略的なシティプロモーションの推進、各種統計データなど市政資料発信の仕組みづくり
- 多様化する市民ニーズに対応できる窓口サービスの構築

◆3章 地方分権時代にふさわしい行財政運営の推進

- 05 地方分権の推進
- 06 持続可能な行財政運営
- 07 人材の育成と活用

<8年間の振り返り>

- 中核市権限を最大限活用したまちづくりを進めるほか、地方公会計制度に基づく財務諸表から得られる情報を活用するなど、持続可能な行財政運営を行っている。

<今後の課題>

- 地域が主体的に地域の魅力や課題を把握し、地域特有の課題を地域の実情にあった形での解決に向け、協働していく地域づくりの推進
- 職員の人財育成や統計データ活用などによる戦略的かつ中長期的な政策立案機能の向上
- 人口減少・少子高齢社会に対応した効果・効率的な行財政運営

都市像(私たちが目指すまち)2

健康で笑顔あふれる、ふれあい、支えあいのまち

◆1章 誰もが心豊かに暮らせる市民生活の推進

- 08 一人ひとりが尊重される地域社会の構築
- 09 暮らしの相談・支援の充実
- 10 社会保障制度の適正な運用

<8年間の振り返り>

- 平和について学ぶ機会や男女共同参画社会の推進に向けた啓発活動のほか、消費生活や外国人市民への相談・支援を充実するなど、誰もが安心して暮らせる取組を推進している。

<今後の課題>

- 年齢や性別、国籍、障害の有無にかかわらず、誰もが心豊かに暮らせる社会の実現に向けた施策の推進

◆2章 誰もが生きがいを持ち安心できる地域づくり

- 11 人とひととが支えあう地域福祉の推進
- 12 障害者への支援
- 13 高齢者への支援

<8年間の振り返り>

- 障害者、高齢者をはじめ、誰もが活き活きと安心して暮らせるよう、自立支援や相談体制を充実し、地域福祉の推進に取り組んでいる。

<今後の課題>

- 複雑・困難化する地域課題への包括的相談支援のため、担い手の確保・育成や、関係機関との連携強化による重層的な支援による仕組みを充実
- 在宅医療と介護の連携による地域医療体制の強化など、超高齢社会を見据えた持続可能な制度の構築

◆3章 保健医療の充実

- 14 健康の維持・増進
- 15 保健衛生の充実
- 16 地域医療の充実

<8年間の振り返り>

- がん検診等の受診促進や妊産婦・乳幼児のケアのほか、地域医療体制を整備するなど保健・医療の施策の充実に取り組んでいる。

<今後の課題>

- 感染症や予防対策に対する専門性の高い保健対策の推進や増加する高齢者に対応できる地域医療体制の整備など、住み慣れた地域で安心して暮らしていける体制づくりの推進

都市像(私たちが目指すまち)3

活き活きと子どもが育ち、学びが豊かな心を育むまち

◆1章 全ての子どもが健やかに育つ地域づくり

- 17 子育て・子育て支援の充実
- 18 地域で子どもを育てる環境づくり

<8年間の振り返り>

- 多様で良質な教育・保育環境の確保や八王子版ネウボラの取組等の子育て・子育て支援を充実するとともに、子ども食堂運営支援など地域で子どもを育てる環境づくりを推進している。

<今後の課題>

- 子どもの将来が生まれ育った環境によって左右されることなく、子どもが健やかに成長していくための環境整備の推進
- 全ての児童が学校を拠点として、放課後を安全・安心に過ごせる環境整備の推進

◆2章 未来をひらく子どもを育てる教育

- 19 生きる力を育む学校教育
- 20 地域とつながる学校づくり
- 21 学びやすい教育環境づくり

<8年間の振り返り>

- アシスタントティーチャー配置等による個に応じた学力向上やスクールソーシャルワーカーによる家庭支援の体制充実のほか、GIGA スクール構想による学校の ICT 化や教育指導環境の向上など教育環境づくりを進めている。また、学校運営協議会を全校に配置するなど、地域と連携した学校づくりを推進している。

<今後の課題>

- 地域と学校が協働し、地域の力で子どもや学校を支える仕組みの構築
- 不登校児童・生徒への支援、特別支援教育の充実などへの福祉・子育て等関連所管と連携した取組の推進

◆3章 学びを活かせる生涯学習の推進

- 22 市民がつながる生涯学習
- 23 誰もが楽しめる生涯スポーツ・レクリエーション

<8年間の振り返り>

- 生涯学習情報の発信や図書館機能の充実、総合体育館整備や陸上競技場改修など生涯学習・スポーツの環境整備を推進している。

<今後の課題>

- 生涯学習環境や図書館機能の充実によるリカレント教育の促進、市民が学習の成果を地域活動に活かすことができる仕組みづくりの構築

◆4章 未来につながる文化の継承と創造

- 24 豊かな心を育む市民文化の振興
- 25 市民が誇れる歴史と伝統文化の継承
- 26 多様な文化交流の推進

<8年間の振り返り>

- 文化芸術活動や伝統芸能に触れる機会の創出、文化遺産等の保存や継承など次世代への継承を支援するほか、日本遺産認定により本市の歴史文化の特色の市内外への発信を推進している。

<今後の課題>

- 市民の文化芸術活動や本市文化芸術の魅力発信など文化芸術環境の整備推進
- 本市に所在する貴重な文化財や日本遺産を活用した歴史文化を活かしたまちづくりの推進

都市像(私たちが目指すまち)4

安心・快適で、地域の多様性を活かしたまち

◆1章 自然と共生し地域の多様性を活かしたまちづくり

- 27 計画的なまちづくり
- 28 誰もが快適なまちづくり

<8年間の振り返り>

- 八王子駅南口集いの拠点や旭町・明神町地区周辺など八王子駅周辺のまちの賑わいを創出するほか、市街化調整区域の集落や多摩ニュータウンなど地域の特性を活かしたまちづくりを計画的に進めている。
- 市営住宅の建替や住宅確保要配慮者に対する民間賃貸住宅への入居支援など、住宅セーフティネットを促進している。

<今後の課題>

- 人口減少や少子高齢化などに加え、コロナ禍による社会情勢の変化を見据えた、計画的なまちづくりの推進
- 適正な管理が行われていない空き家や空き地の増加による治安の悪化を防ぐため、発生予防対策を行うとともに、利活用推進に向けた施策の展開

◆2章 地域力を活かした安全で安心なまちづくり

- 29 災害に強いまちづくり
- 30 防災体制の充実
- 31 防犯体制の充実

<8年間の振り返り>

- 下水道管路や緊急輸送道路沿道建築物の耐震化による都市の防災機能強化を促進すると

ともに、多様な手段を活用した防災情報の提供や関係機関との連携強化により地域の防災力を高める取組を推進している。

<今後の課題>

➤近年、多発する大雨災害等の発生状況を踏まえた、防災機能を備えた都市基盤整備や地域の防災体制の充実など災害に強いまちづくりの推進

◆3章 快適で人にやさしい交通環境づくり

- 32 交通環境の充実
- 33 安全・快適な道路環境の整備
- 34 都市間交通網の整備促進
- 35 公共交通の充実

<8年間の振り返り>

➤安全な道路環境の整備や交通安全教育の推進により交通事故件数は減少している。また、都市計画道路や自転車走行環境を整備し、快適な交通環境づくりを進めている。

<今後の課題>

➤人口減少、少子高齢化を見据え、地域の実情にあった、持続可能な地域公共交通ネットワークの再構築

都市像(私たちが目指すまち)5

魅力あふれる産業でにぎわう活力あるまち

<8年間の振り返り>

◆1章 地域経済を支える産業の振興

- 36 産業振興の体制強化
- 37 企業支援
- 38 就労環境の整備

➤商工会議所や産業支援機関などの産学公連携により、産業活性化につながる取組を推進したほか、市内企業立地や中小事業者への支援を行うなど、地域産業を支える施策を推進している。

◆2章 まちの活力を創出する産業

- 39 高度な技術の集積を活かした産業振興
- 40 新産業の創出

➤新産業創出センターを運営し、新たな製品・技術開発に向けた支援を行うほか、創業者支援や新産業分野に取り組む事業者支援を行うなど、新産業の創出・成長を図っている。

◆3章 まちの魅力を向上させる産業

- 41 にぎわいにつながる産業の振興
- 42 地域資源を活用する産業の振興

- 「中心市街地活性化基本計画」に基づき、中心市街地の活性化を推進するほか、八王子観光コンベンション協会など関連団体と連携して、本市の魅力を市内外に発信し、観光客誘致等を図っている。また、農地再生や農業経営支援を行うなど、都市型農業の環境整備を推進している。

<今後の課題>

- 産業支援の基盤となる評価・分析手法の確立、観光や農業も含めた地域資源の活用、イノベーションの創出など未来への投資に向けた施策展開の検討
- 新たな生活様式に対応した効果的な観光施策や働き方の多様化に即した就労施策の展開など、社会経済状況の変化への適格な対応
- 農家の高齢化や後継者不足に伴う農地減少、遊休農地及び耕作放棄地の増加に対して、担い手の開拓や農地の有効活用について、新たな施策展開の検討

都市像(私たちが目指すまち)⑥

一人ひとりが育てる、人と自然が豊かにつながるまち

◆1章 一人ひとりが考え、ともに守る環境

- 43 環境を守るための意識の醸成
- 44 環境保全活動の推進

<8年間の振り返り>

- 環境教育・学習の充実や環境保全活動団体の活性化等により、市民一人ひとりの環境保全意識を向上させる取組を推進している。

<今後の課題>

- 環境保全活動や緑地の維持管理など地域と協働で取り組んでいる事業における、担い手の確保や育成支援

◆2章 環境負荷の少ないまちづくり

- 45 地球温暖化対策の推進
- 46 循環型社会の構築

<8年間の振り返り>

- 啓発活動の促進により CO₂ 排出量削減を図るとともに、ごみの発生抑制や資源化の取組により埋立処分量ゼロを達成し、環境負荷の低減を推進している。

<今後の課題>

- 国の「カーボンニュートラル宣言」を受けた、「地球温暖化対策地域推進計画」の改定及び市独自の取組の構築
- ごみ排出量削減のための更なる資源化の推進、将来における安定的かつ継続的なごみ処理体制の検討

◆3章 自然と共生した安全で快適な環境

- 47 健全な水循環の再生
- 48 豊かなみどりの保全と活用
- 49 安全で良好な生活環境の保全

<8年間の振り返り>

➤水路・雨水排水施設整備により治水・親水による水環境づくりを実施するとともに、森林・里山などのみどりの保全活用を市民・事業者等との連携により進めている。

<今後の課題>

➤地球温暖化等に伴う気候変動の影響による課題に向けた、関係機関と連携した対策の推進